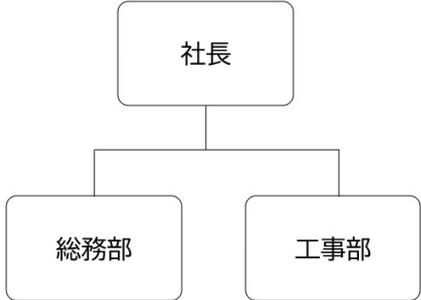


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和6年 8月 19日 高松市長 殿 提出者 住 所 高松市福岡町4丁目20番19号 氏 名 株式会社 福島工務所 代表取締役 福島 秀孝 電話番号 087-851-6481 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 福島工務所
事業場の所在地	高松市福岡町4丁目20番19号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	資本金2,000万
③ 従業員数	7名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[各作業所] -- 委託契約 --> B[産業廃棄物収集運搬業者] B -- 委託契約 --> C[中間処理業者] C -- 委託契約 --> D[最終処分業者] C -- 再生 --> E[再生] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
	各部署の役割
総務部	委託契約書の作成・締結 マニフェストの発行・管理・保存 実績報告書の作成
工事部	処分先の決定 委託契約書及びマニフェストの内容確認 分別・処分・再生状況の確認 排出量の集計

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量		
	(これまでに実施した取組) ・梱包材の削減（メーカーへ簡易梱包の依頼） ・仮設材及び余剰材の再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場にて工事ヤードの広さを考慮のうえ、分別品目を決定。 ・分別される品目ごとに、産廃用コンテナを設置する。 ・コンテナに分別品目の掲示を行い、作業員に分別を周知徹底する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の取組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ マニフェストで適正に処分・再生されていることを確認する。 ・ 廃プラ、石膏ボードはリサイクル可能な業者へ委託する。		

② 計画	【目標】別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組みを継続する。 ・陶磁器くず、ガラスくず等今まで埋立処分となっていた品目も、リサイクルできる業者へ委託ができないか検討する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

現状：前年度（令和5年度）実績表

計画：今年度（令和6年度）計画量（目標）

（単位：t）

産業廃棄物の種類	排出量		自ら再生利用を行った量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		処理の委託										
					自ら熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量				全処理委託量		優良認定処理委託業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
コンクリートがら	2401.0	2160.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2401.0	2160.9	—	—	2401.0	2160.9	—	—	—	—
アスコンがら	85.3	76.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85.3	76.7	—	—	85.3	76.7	—	—	—	—
ガラス、陶磁器くず	11.2	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.2	10.0	—	—	11.2	10.0	—	—	—	—
廃プラスチック	11.9	10.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.9	10.7	—	—	11.9	10.7	—	—	—	—
廃石膏ボード	16.8	15.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.8	15.1	—	—	16.8	15.1	—	—	—	—
木くず	38.9	35.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38.9	35.0	—	—	38.9	35.0	—	—	—	—
がれき類	33.7	30.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.7	30.4	—	—	33.7	30.4	—	—	—	—
紙くず	0.3	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3	—	—	0.3	0.3	—	—	—	—
金属くず	1.8	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	1.7	—	—	1.8	1.7	—	—	—	—
混合廃棄物（安定型）	7.9	7.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.9	7.1	—	—	7.9	7.1	—	—	—	—
混合廃棄物（管理型含む）	4.0	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	3.6	—	—	4.0	3.6	—	—	—	—
石綿含有廃棄物	7.4	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	6.7	—	—	7.4	6.7	—	—	—	—
石綿含有廃棄物（特別管理）	3.9	3.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	3.5	—	—	3.9	3.5	—	—	—	—
水銀使用製品廃棄物	0.2	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.1	—	—	0.2	0.1	—	—	—	—
合計	2624.3	2361.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2624.3	2361.8	0.0	0.0	2624.3	2361.8	0.0	0.0	0.0	0.0